**家庭科　学習指導案**

泉大津市立小津中学校

指導者　Ｔ１：教　　諭

Ｔ２：栄養教諭

１．日　時　　　　　令和６年９月２４日（火）第３時限

２．場　所　　　　　１年２組　教室

３．学年・組　　　　第１学年　２組（４０名）

４．単元（題材）名　「Ｂ 衣食住の生活」（2）中学生に必要な栄養を満たす食事

５．食育の視点　　　中学生の1日に必要な食品の種類と献立作成の方法を理解する【心身の健康】

　　　　　　　　　　献立を工夫して創造する【食事の重要性】

６．単元（題材）の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。・中学生の１日に必要な食品の種類と概量が分かり、１日分の献立作成の方法について理解している。 | ・中学生の１日分の献立について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表 現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | ・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。・自分が食べたいだけでなく、仲間が食べたくなるような献立を工夫して創造し、プレゼンしようとしている。 |

７． 単元の指導と評価の計画（全４時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | 主な評価規準【観点】・評価方法等 |
| 第１時 | 中学生の発達と必要な栄養素について理解しよう。 | 中学⽣の１⽇に必要な⾷品の種類について理解している。【知識・理解】 |
| 第２時 | 栄養素のはたらきと６つの基礎食品群について理解しよう。 | 栄養素の種類と働きが分かり、⾷品の栄養的な特質について理解している。　　　　　　　　【知識・理解】 |
| 第３時 | 考えてみよう！オリジナル給食！！ | 中学⽣の１⽇分の献⽴について解決策を構想し、オリジナルの給食献立をまとめられている。【思考・判断・表現】 |
| 第４時本時 | オリジナル給食を互いに評価しあい、再考してみよう！ | 自分が考えた献立の課題について、主体的に改善しようと取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| 第５時 | オリジナル給食をプレゼンし、食べたいと思う献立に投票しよう！ | 仲間の献立について、アドバイスするなど評価・改善することができている。　　　　　　　【思考・判断・表現】 |

８．本時の展開（第４時）

　(1) 本時の目標

・パフォーマンス課題である「オリジナル給食の献立をつくろう」において、自分が考えた献立の課題を

見出す。

・仲間のアドバイスや新たな視点である「食品群摂取量」の目安を用いて、オリジナル給食の献立を再考

する。

　(2) 本時の評価規準

・自分が考えたオリジナル給食の献立の課題を見出そうとしている。

・「食品群摂取量」の目安を用いて確認し、オリジナル給食を確認し、改善しようとしている。

　(3) 本時の判断基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 十分満足できる状況 | おおむね満足できる状況 | 努力を要する子どもへの支援 |
| １日分の食事内容や今後の食事についても改善しようとしている。 | オリジナル給食の献立における課題を見出し、改善しようとしている。 | ＯＺＵサポ時にＣの生徒とオリジナル給食の献立作りを行い、再度発表を行う。 |

(4) 本時の学習過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準（評価方法） |
| 導入 | ・本時の流れの説明をきく。・班の形になり、発表する順番　を決める。 | ・本時の流れを黒板に掲示し、説明する。本時のめあてオリジナル給食の献立を再考しよう・メモをする用紙を配布する。 | ・オリジナル給食の献立における課題を見出し、改善しようとしている。（B）●Aの基準・１日分の食事内容や今後の食事についても改善しようとしている。●Ｃへの手立て・ＯＺＵサポ時に　Ｃの生徒とオリジナル給食の献立作りを行い、再度発表を行う。 |
| 展開 | ・班員で順番に、１人１分の応援演説をおこなう。次の発表者は、ｉＰａｄで他の班員の発表を撮り、提出箱へ出す。・撮影者以外班のメンバーは、発表者のプレゼンを聴き、２点をメモする。（良かった点・アドバイス）・班のメンバーから評価シートを　もらう。・倭先生の話を聞き、「食品群摂取量」の目安を用いて確認し、オリジナル給食の献立を確認する。・摂取量の不足分やメンバーからの評価をもとに、給食の献立を考え直す。 | ・班の発表者が時間を見やすいように、タイマーをスクリーンに映す。・発表者と撮影者以外は、発表を聴いて２点をメモさせる。（良かった点・アドバイス）・班のメンバー同士で評価シート　を交換させる。（アドバイスの部分に着目させ、改善ポイントを確認させる。）・新たな視点である「食品群摂取量」の目安を説明し、各自のオリジナル給食の献立を確認させる。・摂取量の不足分について、　例を提示するとともに、１日の摂取目安のアドバイスを行う。 |
| まとめ | ・家庭学習の説明をきく。・次時の説明をきく。 | ・課題解決に向けて、家庭学習をする際の参考となる資料やURLを提示し、説明する。その際、班の形を元に戻させ、１人で実施させるようにする。・次時の説明をする。 |